

## 土砂災害からの復旧復興

■ 角 谷 喜 一 郎\* ■

### 1. 野迫川村の概要

野迫川村は奈良県の西南部に位置し、人口420人、面積155km<sup>2</sup>で和歌山県と隣接しています。村の北部には古くから開けた信仰の山・高野山があり、南には高野龍神国定公園の一部である伯母子岳<sup>おぼこ</sup>や護摩壇山<sup>ごまだん</sup>が険峻な山容を見せて連なっています。

村には「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された「熊野参詣道小辺地」があり、真言密教の総本山・高野山と熊野本宮という二大聖地を最短距離で結ぶ参詣道で伯母子峠・三浦峠<sup>はてなし</sup>・果無峠<sup>はてなし</sup>と1,000m級の峠を3つ超えて熊野本宮へと至るハードなルートで、アップダウンを繰



り返しますが、石仏や地藏、苔むした石畳、茶屋跡や屋敷跡等、昔の古道の雰囲気数を多く残しています。地勢は全般に急峻で標高が高いため、冬季は寒冷で多量の積雪があり、夏季は冷涼で避暑地として広く知られています。また、満天の星空や、雲海が美しく、多くのカメラマンや観光者が訪れています。

### 2. 台風12号の概要

平成23年8月25日9時にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風12号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、28日には強風半径が500kmを超えて大型の台風となり、30日には中心気圧が965hPa、最大風速35m/sの大型で強い台風となりました。

台風は、その後もゆっくりとした速度で北上を続け、9月2日には暴風域を伴ったまま四国地方に接近し、その後、ゆっくりと北上して四国地方を横断し、4日未明に日本海に進み、5日15時に日本海中部で温帯低気圧となりました。

### 3. 台風12号の被害状況

紀伊半島を襲った台風12号は、大型で動きが遅かったため、長時間にわたり広い範囲で1,000mmを超える雨を降らせました。本村の北股観測所では、8月31日から9月4日までの4日間で総雨量が1,040mmという記録的な豪雨となり、村内各所



野迫川村位置図

\* Kiichirou Kadotani 奈良県吉野郡野迫川村長



北股地区の山腹崩壊



約3万本の流木を含む土石流



林道山腹崩壊



養殖場を襲った土石流

で甚大な被害を受けることとなりました。

被害の状況は、北股地区集落上にある谷において山腹が崩壊し、およそ3万本の木を含む土石流が集落に押し寄せ、全壊3棟、半壊5棟、床上浸水2棟、床下浸水2棟、倉庫及び車庫全壊7棟、車10台が埋没しました。また、インフラ被害は、村道9箇所、河川7箇所、林道34箇所、簡易水道1箇所、農地8箇所、漁業施設1箇所、大規模崩壊8箇所と村内全域で甚大な被害があり、北股地区の住民は2カ月半避難所生活を送り、仮設住宅で2年8カ月の生活を送りました。

#### 4. 今後の取り組み

今後、南海トラフ巨大地震の発生が予想されるほか、土砂災害に関しても村内の複数箇所が特別警戒区域に指定されるなど、大きな被害が発生する可能性があります。

本村においても「地域防災計画」「職員災害対策マニュアル」の整備を行ってきましたが、災害はいつ発生するか分からないため、これらの災害

から生命を守るには、日常から災害に対する備えを怠らない事が重要です。このため、住民の方々にも参加をお願いして、災害時の避難行動等、身をもって経験することができる防災訓練の実施を予定しています。このような訓練を重ねることで、災害が発生した際の迅速な行動につながると共に、防災意識の高揚にも寄与します。

#### 5. 最後に

土砂災害に強い村作りを考える中で災害を予防するための砂防事業が今後の重要課題と考えています。国や県の皆様にご協力、ご支援をいただき知恵を絞りながら進めて行きたいと考えております。今回の紀伊半島大水害では、国をはじめ、県、他市町村の暖かいご支援により復旧復興が進み現在があります。まだまだ道なかばですが、復旧復興は今後も着実に一步一步進めて参りたいと思いますので、ご支援ご協力よろしくお願いたします。